











伯刺西爾國旗

伯國のやうな移植民から成立つた國では、中心となるものは國旗を掲げて他に適當なものを見出さぬ。所が伯國が發見されて以來屢々政體が變つたが爲め、今日まで國旗の變つたのが前後五回となつてゐる。

(一)はペドロ・アルバレス・カブラルが伯國を發見した時、其の指揮下に在るボルドが船の帆に基督教徒が最も神聖視せる十字架が染出されつたから、此の十字を白地に赤く染抜いたものをボルトガルの領土旗として用ひた。(二)は一六四〇年に至り伯國がブリテン・パド國となつた結果新たに太守國の旗を制定し、青地に黃金色を以て王國の徽章(經緯度線を表した地球形)を染出したものを以て從來の領土旗に代へた。

(三)は一八一六年にボルトガル・ブラジル及びアルガルエスの三王國が聯合して一王國となつたが爲め白色の旗に三王國の紋章と王冠などを組合せたものに變つた。(四)は伯國が獨立して帝冠と橋を取合せ、十九の星を添へて州の數を代表せしめ且つ煙草とか珈琲の枝をも配合した。(五)は一八八九年伯國が帝政を革めて共和政を採用した結果律令第四號を以て新たに國旗を制定したのは現在の伯國大旗である。

行方正は全くの模範學生とされてゐた。所がある日、ルイは羅典語の教師、ファイユザ神父と争論を始めた。

チト・リビオの一節の翻譯で、先生が解説を異にしたルイは、眞赤に逆に黒い珠へキズが入つたやうに悲しかった。きつけて教室を退いた。

フイユザ神父は直ぐに校長の許へ訴へた。所が校長は「謝るなんて死んだつて……」。フイユザ神父は羅典語を知らないんです。

珠へキズが入つたやうに悲しかった。然し他の見せしめの爲に罰しなければならない、そこで私かにルイを呼び寄せて、神父に謝りに行くやうに懇々と説き勧めた。けれどもルイ少年は頑として應じなかつた。

祭年百立獨國伯祝

業車働自貸

忠木々佐治清木々佐

街ナバカバコ市ロイ子ヤジ・デ・オリ  
番九三二一マチバイ——話電

M. NAMBA  
REPRESENTATIVE OF  
LUIZ CAMACHO

Ship-Chandler and General Store Dealer

Rua Clapp, 9, Tel. Central, 309 — Cable Address; AVON-RIA  
RIO DE JANEIRO and SANTOS

祝伯國獨立百年祭

大日本各艦御用達  
並に食料品納入商

難波元造

南米伯刺西爾

リオ・デ・ジヤネイロ港  
クラツ・ブ街九番  
電信略號 AVON - RIO

リオ・デ、  
ジヤネイロ支店

横濱正金銀行

祝伯國獨立百年祭

HACHIYA & IRMÃOS

易貿入出輸

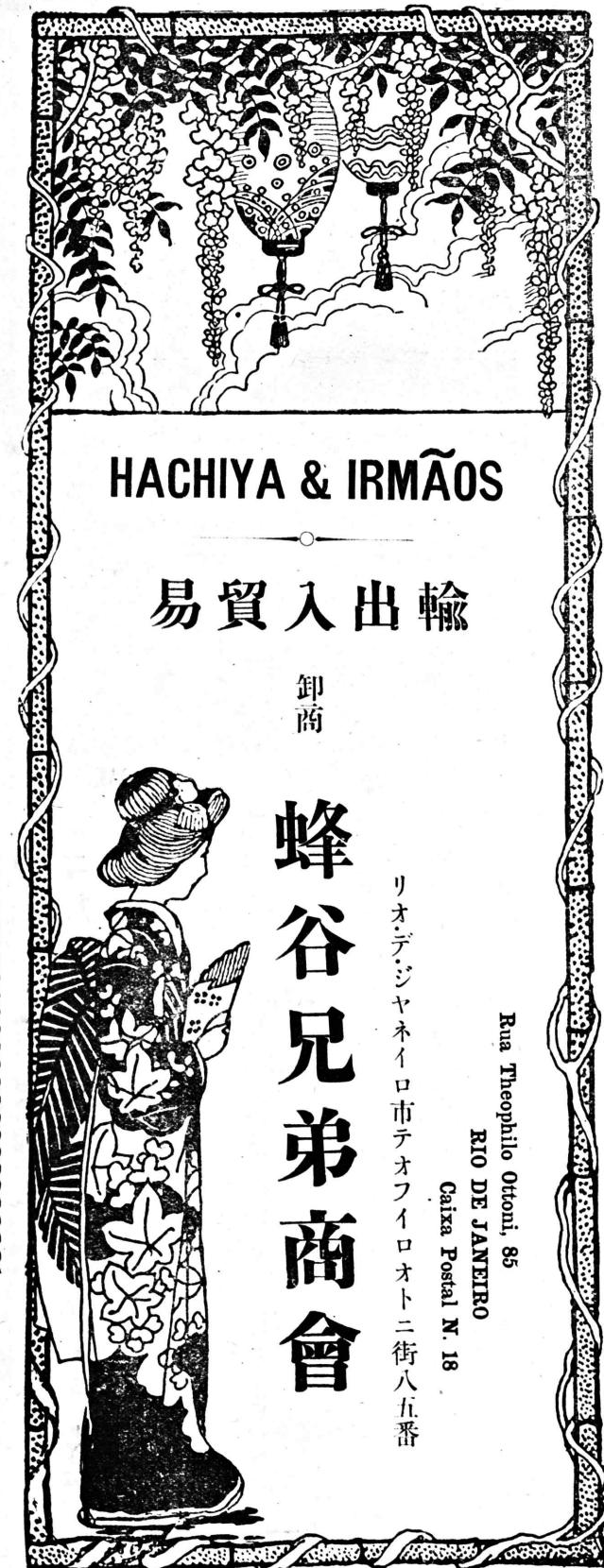
卸商

蜂谷兄弟商會

Rua Theophilo Ottoni, 85

RIO DE JANEIRO

リオ・デ・ジヤネイロ市テオフィロオトニ街八五番



神は「我が胎を出でし時より我を選びき我を異邦人間へ遣ひしめんことを傳道者たらしめん」とし給ふ。とは、信仰の偉人使徒パウロが「使命を自覺した時の實境」を述べて、此世に生れ來るもので、覺する事に依つて、始めて人々活に意義と價值とを齎す事あります。人は必ずや何等かの使役をして、此世に生れ來るもので、覺する事に依つて、始めて人々活に意義と價值とを齎す事あります。私は亦此使命の觀念として、今此廣漠なる南洋に立つて、我面前に開展してゐる神的事業に向つて、渾身の力をもして居ります。

渡伯の使命と其計畫  
聖州義塾設立趣意書

# 其の 計 画 立 趣 意 書

# 其計畫

## 設立趣意書

十分其進歩發展の道を開いてやり度死んだ宗教などは説かない積りであります。外國に生れて其處であります。此世の凡ゆる問題は要する育つ子女の教育の必要な事は、只にに生きた人物そのものゝ出現に待たれています。それが子女其者の爲め計りではなくねばならぬのであります。特に外排日問題と云ふ様なものの根本的解國に於ける日本人問題の如きは、ご決ともなり、引ては我民族の世界的うしても海外にある我等自身の品質精神的感化を與へれば、必ず偉大なる國民となり得る事、三は基督の示す人生の大理想と其人格の感化であります。我國民が此大自然の中に生活して、基督の感化を受くる曉には、必ず其處に驚くべき何とか實現する事を信じて疑ひません。そして其れは取りもなほさず、日本の爲めであり伯國の爲めであり、引いては世界人類の幸福の爲めであります。最後に我等が當地に於て事業を爲



るさんは立設てし機を祭年百立獨が氏利豈美林小  
ひ集の件小の校學署見を直前の熟著關也

希ふ次第であります。之は正に我等が伯國を通じて、世界の文化へ貢献する一大事業を爲す事であると共に、有色人種對白色人種の融合統一云ふ様な大問題にも、必ず何物かを寄與する事が出来る事信じます。

以上は私が當地に於ける畢生の事業として、漸次實行に取掛る積りであります。が、元より彼處迄も基督教の主義精神に依つて、理想あり人格あり手腕ある有爲の人材を養成するにあるは云ふ迄もなく、私は斷じて

希ふ次第であります。之は正に我等が伯國を通じて、世界の文化へ貢献する一大事業を爲す事であると共に、有色人種對白色人種の融合統一云ふ様な大問題にも、必ず何物かを寄與する事が出来る事信じます。

以上は私が當地に於ける畢生の事業として、漸次實行に取掛る積りであります。が、元より彼處迄も基督教の主義精神に依つて、理想あり人格あり手腕ある有爲の人材を養成するにあるは云ふ迄もなく、私は斷じて

藝思想界の方面に迄優秀な人物を送り出して、其處に押しも押されもしれない丈けの地盤と實力を作り上げねばならぬと思ひます。

尙ほ私が此處に骨を埋めて活動する決心を起した動機は、少くとも次第の三點を確信するからであります。即ち一は此南米と云ふ處を私は心から愛すると共に、その前途に驚くべき未來を認め、特に我等に十分生活の保證と發展進歩の自由を與へる事を二は日本人なるものは元來優秀なる

祝 独伯國立百年肇慶

# 海興外業會社株式 伯國支店

アニメース

# 植民部

イ  
グ  
ア  
ペ

# 祝百年祭

聖波羅土地材木

殖 民 會 社

The S. P. L. L. & Colonization Co.

ESTAÇÃO BRIGADEIR

## ●資本放下は今が好時期

限部三郎

本問題の前提として伯刺西爾國は資本を受けた傷痕未だ愈えず、荒廢の本放下に適する無量の富源を有する事業殆んど復舊の見込なく、失職者これを述べねばならぬも、憲は是迄の始末に窮し挽回善後の策は只伯國しづく本紙を介して述べ置きたれば今富源の開發に在りとし、各國競ふて之を繰返すは却て讀者の倦厭を生ずるの恐れあると富源の豊富に付ては既に認せられたる處なれば之を省略す。今や伯刺西爾國民は勿論在留外國人も獨立百年記念博覽會の爲め人心緊張し其念慮一に此處に集中して居るも、畢竟伯國のプロバガンドにして放資を誘ひ天賦の恩恵に浴せんとの精神に外ならぬと思はる。退いて思を遠く伯國の山野に轉するときは放資を要すべき事業は渠々に於て爲されたるもの微々たるにも拘らず、市街を飾り享樂の場所を設備するに汲々として内外債を起し、今や殆んど其絶頂とでも評し度程少からざる金額に達し居れば、假令大なる國土を有し無限の富源を包藏し居る北叟笑を爲して其富を衒ひ誇るも磨かざる玉の光なき同様、其貧弱今日の有様には伯國資本の供給す可きものなく、勢ひ外債を得たは立若くは伯資と共に放下せらる萬幾千を數ふるに至り、勇敢勤勉に至るは勢の免かれざる處である。

歐洲大戰の賜物として思想界に營み來りし事が悉く世界的たらねばならぬ事になりしも、内心は未だは投資家が未知の危険を避くるに參照する程度に達し居ることは資本放棄を脱しかね世界的美名の下に各酌する程度に達し居ることは申述あります。去れど此等の同胞が世界の起債は伯人自身全然異りて、何等事情の知れざるならば、此上の起債は伯人自身全然異りて、何等事情の知れざる處にては到底六個敷事と誦きらめねばならない。茲に於てか外國の資本は獨立若くは伯資と共に放下せらる萬幾千を數ふるに至り、勇敢勤勉に至るは勢の免かれざる處である。

個又は各自國の利益を謀ること却て下の好時期ではありますまい。然るに優るも劣ることなく、其施設が益擴大する丈他を排斥するの結果を生ずる様になりました。而して、す仄に聞く處に依れば最近三四年に於て取結ばれ、大戰後四年の今はしたるものの、みにて五百に近い日に至るも戰争に關與したる各國はの事なれば、其他の視察者と共に視

## ●低利資金の使ひ途

山根寛一

伯國の獨立百年祭を祝賀するに就き當國で普通の銀行では割引の最長期が四ヶ月位であるから到底此の金であつて性質上長い期間の金では一年にも及ぶものがある、随分暢用すれば役に立たぬ、現在伯國の耕主連の金融は銀行のみならずコンソリダードの銀行は銀行の間に過ぎぬる處之れありと雖も伯國に於いては殊に甚だしい、農産物の取引は所謂Marginal Transaction 許りで取引所はは一般に亘り低利資金の効果を失し、穀物取引所は其の元來の機能を失して徒らに投機者流の賭博場たるの感がある、政府も此れを監視する力を持たぬらしい、取引所の弊は世界到る處に於いても同様である、隨分暢用すれば役に立たぬ、現在伯國の耕主連の金融は銀行のみならずコンソリダードの銀行は銀行の間に過ぎぬる處之れありと雖も伯國に於いては殊に甚だしい、農産物の取引は所謂Marginal Transaction 許りで取引所はは一般に亘り低利資金の効果を失し、穀物取引所は其の元來の機能を失して徒らに投機者流の賭博場たるの感がある、政府も此れを監視する力を持たぬらしい、取引所の弊は世界到る處に於いても同様である、隨分暢用すれば役に立たぬ、現在伯國の耕主連の金融は銀行のみならずコンソリダードの銀行は銀行の間に過ぎぬる處之れありと雖も伯國に於いては

## 祝伯國獨立百年祭

祝百年祭 山本洋服店

祝伯國獨立百年祭 遠藤常八郎  
在サンパウロ市

堅牢を旨とし頗る入念に裁縫し同胞諸君の御求めに應じます

## 直輸入商 濑木商店

聖市 コンデ・デ・サルゼーダス街四九番

電話 セントラール 三八三六番

Y. SEGUL  
Caixa Postal, 1771-S. Paulo

祝伯國獨立百年祭 東京館

聖市 マウアーハー街一九九番  
電話シダーデ一四七六番

## 祝伯國獨立百年祭

聖市 マウアーハー街一九九番  
電話シダーデ一四七六番



やまと撫子 (三)

ラファエル・モンテエロ

自然の景色になづむ、と云ふ事か日本人のあこがれの一である。大自然のふところに抱かれて、静かに瞑想に耽る時、名譽も富も光榮もない、呼びかかる親しい人の聲さへ、感興を殺ぐ無風流者とも惜らしいのだ。夕月やいと花やかに笑ふ子と潜んで立ちて海をながむる。

騒がしいセレナタが、秋の夜の静さを破るとき、思はず出づるつぶやきと腹立たしい舌打。

ラベルナルト・ギマラエス

小説 奴隸の娘 (三)

百歳の祖父の笑顔や祝ひ酒

盆にあふる喜悅グッとき乾し

何がさて大振舞や初誕生

ウニオン 静雨

百歳のはまれの紀念壽ぎていや榮えゆく我が愛し國

イビランガなど自由の旗風に民

草は榮の女神の恵にやしあけ

光榮の紀念うれしき椰子蔭に日伯

の旗かざしてぞ祝ふ

生き死か進りける熱血の千代の

百歳のほまれの紀念壽ぎていや榮

おはすらんか、わが君は何を思ひ

思ふ憂の如何に多き物思ひ

おはすらんか、わが君は何を思ひ

◆ 独立百年祭に就て  
 ◆ 私共の待ちに待つた独立百年祭は参りました。御同様慶賀に堪えません。歴史に據つて見ますと伯國が他の植民地のやうに、總てに支配権を持つてゐた本國即ち葡萄牙の虐政に苦しめられ、何時か機會があつたら獨立しやうと思つてゐた所へ、葡萄牙は遂に暴戾なる二法令を發するに至つたので遂に獨立を見るやうになりました。

◆ そしてその二法令とは、(一)伯刺西爾に假政府を置いて既往の植民制度を復興する事、(二)ドン・ペドロ親王を葡萄牙に召還する事でありましたが、豫て本國の態度に兼焉たらざりし伯刺西爾は、此の二法令の發布に會ふや一齊に起つて之に反対しました。

◆ 今から丁度百年前の今日ドンペドロ親王がミナス・ジエラエスからの歸途サンバウロはイビランガと云ふ小川の邊に於て、葡萄牙本國から云ふ世界に始めて伯刺西爾と云ふ大きな獨立國が出來た謂はれています。

◆ 現に於て私共の考へて置かねばなりません事は、伯刺西爾は獨立國となりませんが、由來伯刺西爾人は大陸の感化を受け、寛容で平和を愛し、愈々國の独立の熟するまでは輕舉しない所長所がありますから、独立と云ふ大事業に對しても至つて確かに遣つて抜けたのであります。

◆ 斯様な譯で人民は穏和でありますし、國は若い上に天産が限りなく豊

饒でありますから、伯刺西爾は自然に世界の注目を受ける國となり、是かに醒醒せず、此の独立百年祭を機会に更に先の百年を考へ、謂ゆる百年古めるのも遠き將來ではないやうに思はれます、ですから現在伯刺西爾なりません。

### 祝伯國獨立百年祭 齊藤時計店

聖市コンデ・デ・サルゼーダス街一七番

### ARMAZEM DO H. KURITA REGISTRO

吳服並二  
雜穀仲買  
イグアペ郡  
レヂストロ市街地  
栗田平一

### 祝伯國獨立百年祭

サントス市ブラサ、デ、ジョゼ  
ボニファシオ街五十ー番

### 平安名旅館

家具商並ニ  
建築請負  
サントス

### 祝伯國獨立百年祭

### 金山喜二郎

Salve o Brazil!  
Salve a Liberdade!

Rua Rangel Pestana, 37 e 41 e  
Rua Senador Feijo, 361  
SANTOS

### HOTEL DO REGISTRO

イグアペ殖民地  
館主 前地七郎  
御旅館

### 祝伯國獨立百年祭

祝伯國獨立百年祭  
雜穀仲買  
日用品各種  
青木新次郎商店

伯國サンバウロ州イグアペ郡  
レヂストロ殖民地

### Pensão Esperança

Rua Senador Feijo, 377-379

旅館並ニ  
カフエー店  
松田太郎  
大城喜助  
サントス市セナドル・フニイジョー街三七七



**YAMA-K. SHOKAI**  
Ship-Chandlers  
Tel. Central, 1973 - Rua Martim Affonso, 41  
— SANTOS —



大阪商船會社御用達  
日本郵船會社御用達  
各艦船食糧賣込業並に  
農產物仲買業生干鹽魚卸販賣

小淵合同經營  
岸本合資商會

南米サントス市  
マルチンアフォンソ街四一一番  
電話セントフール一九七三番  
Caixa Postal, P. P. SANTOS

# 實業團一行に望む

輪 湖 生

里

族移植民は自家の發展に忙殺され鄉勝ちであります。こうした結果は今尚ほ出稼根性の故國民に決していい感情を與へずして稍もすれば比較的

先づ御安着を祝し、併せて遠路わざても之に着手實行に入る迄には可成感謝を拂ふ次第であります。之迄伯國へも相當な方々が多々御視察に御出で下さつたが、かかる種の催しは機は一度逸して再び獲らふべくあら初めどあり、且つは故國に於ける知名な方々であり更に近時日本国民の海外發展熱も頗る高まる折柄御一行の歸朝は必ず何物かを齎す事と信じます。若し何等の反響も或は具体的企劃も見ないときは祖國の人々が無神經無顧慮かさなくば御一行の怠慢無誠意による考へても差支ないでせうか如何。

木の實が落ちて芽生えても枯の木は矢張り枯の木であります。吾等が祖國を思ふ情は或は故國の人士以上であるかも知れません。御一行に期待する所もかうした心より出るのであります。勿論中には單なる自個の利害より出發した提唱や或は一衆閉一地帶にのみ重きを置いた特種なプロバングダもありませうが、又廣く在伯同胞全般の期待を代表し、更に世界の大勢より日伯兩國の將來に及んだ幾多の方策意見もあらうと存じます。孰れにも伯刺西爾の實相を知る上に於て耳を假す必要があると思ひますが御一行は多忙な方々であります。旅程は大急行、日に夜を次いでの歓迎事の爲め或は深く御視察の機なきやを恐れる位であります。御一行の前置きが長くなつて甚だ恐縮ですが私の御一行に對する希望は、伯刺西爾で土地を買つて頂きたいと云ふ極めて月並な注文であります。御一行の旅費を節約しても一萬町歩の土地は何んでもありません。一大計畫と使命を帶びて御來伯になつたと想像なれば自個の利害關係上眞面目に伯國は致される御一行に斯る土地臭い單簡刺西爾を研究する氣にもなり、その期待は或は失禮に當るかも知れまことに共通の利害を見出す時新たな生産の誘致を宣言して居ます。吾等が今せんが、兎角海外にもダイヤモンド組織が自然と生じて來ます。而もその大な税金に對し周到潤澤な用意と準備を絶対必要と致しませう。それに家看板だと意外な國際的難碍や多対する充分な成算と決心があるとして殆んど没交渉であります。農民家考へられます。



伯刺西爾の肖像  
氏藏禮科山長閣開年為獨視百國業觀光

# 祝伯國獨立百年祭

其

## 商具家

切一負請建築他ノ其

## 中村勝盛 原源之助

マツトグロツソ州  
アキダワナ町

郵函九番

# 祝伯國獨立百年祭

Estação Santo Anastacio  
Linha Sorocabana  
Estado de São Paulo

## 板東喜内

# 祝伯國獨立百年祭

## 矢部洋服店

ジョゼ・ボニファシオ街壹壹番  
電話セントラール三四三四番

## 祝百年祭

## 石井寫眞館

石井一步

迅速正確鮮明を  
標榜して營業仕居り候

聖市コンセレイロ、

クリスピニヤノ街壹六番  
電話シダーデ六〇二九番

◇御希望に依り出張撮影可仕候◇

# 祝伯國獨立百年祭

## 上地旅館

上地彌藏

聖市ボニータ街壹壹番  
電話セントラール五七〇一番

農業

## 伯國の現在及び將來

農學士

江

越

信

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤&lt;/



伯國が獨立して百年、其經濟的發展も先づ、百年以來と見ても差支ありますまい、其百年間に各國人によりて發達した歴史を、私等は過去十五年で、同等迄發達せしめ得たかと云ふに誠に御恥かしい次第で、實際を申しますと過去の十五年は移植民の失敗の歴史だと自白せねばなりません。諸外國人も其今日に至る迄には随分色々の失敗を繰返したことは明瞭の事實でありますから、我々の過去十五年の失敗も將來發展の道程と説めるより外はありません。

説めるは宜しいが何時迄も今日の様では、何時發展することが出来るでせうか、何時諸外國人と比較する様になり得らるゝでしようか。百年祭に御祭騒ぎも結構ですが、更に必要なものは無いでしょうか。此百年祭を一期として何とか一活動する工夫はないものでせうか。今後の十五年で諸外國人に比較する様にでもせめてなり度いものだと思ひます。

私は渡伯十年南里の一隅に蟄居して居り、一向天下の大勢をしらすして諸君に其方策を説くも鳥辞がましいが近來氣付いた事を一、二述べて見たいと思ひます、他山の石ともならば結構な次第です。

一、諸外人も最初は同様であつた様ですが、日本人は未だに探險的氣分が抜けないのぢやないかと思ひます。自己の天職を楽しみ、自己の家庭を楽しみ、徐々として進み、悠久とし

百年祭を期して

紫山生



會覽博大國萬祭年百立獨國伯るけ於にオリ  
館列陳品出本日

# 癸年百立獨國·伯祝



お母さん坊やの所へ  
菱K印『削り節』てふのが來ましたよ！  
お料理に入れば如何なものでも  
夫は／＼お旨く食べられるんですってね

ス ト ン サ  
三 告 商 全

**RUA DR. COCHRANE, 118**



# **EDIÇÃO COMMEMORATIVA DO CENTENÁRIO DA INDEPENDÊNCIA DO BRASIL**

百年と云へば決して短くない  
歳月である。人間にすれば七十  
歳を以て古来稀なりと云ふ位ゐ  
で、如何に若返法が發明されても、  
百歳の壽を保つことが事實  
困難である。故に伯國獨立百年  
と子を通り越して孫の時代で、  
百年前の事を知るには歴史に據  
らねばならぬが、しかし國では  
は百年の壽は恰も嬰兒の初誕生に  
過ぎないので、顯著なる發達は  
は寧ろ此の後に俟たねばならぬ  
人間も小供の初誕生に色々の儀  
式お祝ひを爲すが如く、國の初  
誕生さも云ふべき百年祭には、  
何れの國も特別に盛大なる儀式  
祝典を舉行する慣例とする、  
之は畢竟發達に最も困難なる事  
に由つて、更に大なる發展を  
遂げやうとする前途の祝ひであ  
る。

## ●獨立百年祭を意義

帝國總領事  
藤田敏郎

●イピランガの丘に建つ  
獨立年記念碑

**SALVE 7 DE SETEMBRO DE 1822-1922 !**

Corria o anno de 1822.

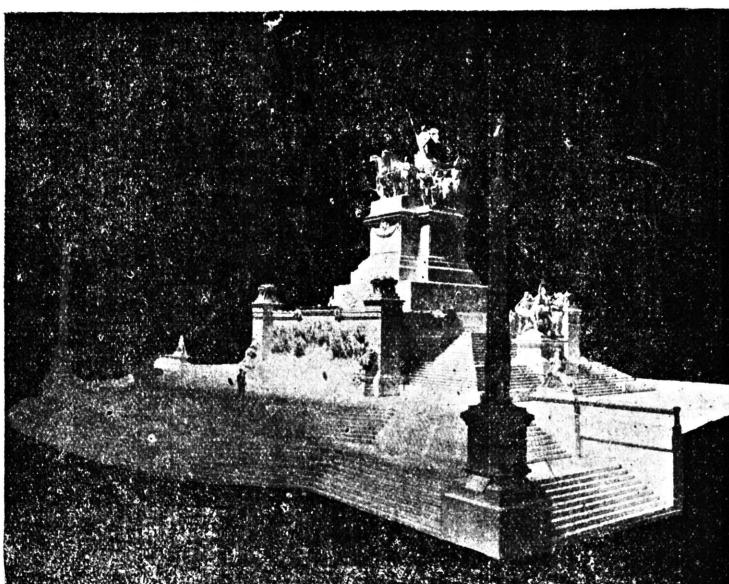
Depois da partida de D. João VI para Portugal, os ideias de liberdade e de independência fervilhavam em todos os corações brasileiros.

Da Metrópole chegavam decretos sobre decretos, todos ellos restringindo a ação administrativa do Governo Brasileiro. A 7 de Setembro quando o príncipe D. Pedro chegava às colinas do Ypiranga, de regresso de sua viagem a Santos, recebeu a notícia de que as Córtes de Lisboa declaravam nulos todos os seus actos. Depois de lêr os papéis recebidos, ferido em seu amor próprio, o jovem príncipe, arrancando da espada que rutilou aos raios do sol brilhante daquelle dia, bradou: «Independência ou Morte!» Estava proclamada a Independência no Brasil.

Do alto do seu pedestal de glórias, o Brasil vê decorrer hoje o primeiro centenario desse memorável feito. De norte a sul do paiz, os altivos filhos deste abençoadão torrão expandem a sua alegria sem fim, por meio de festas estrondosas.

Não são somente os corações brasileiros que vibram de entusiasmo neste momento de regozijo; muitos milhares de outros pertencentes aos filhos de longínquas terras, que aqui vivem e que consideram o Brasil como segunda pátria, também palpitem jubilosos, acompanhando com o mesmo ardor a passagem festiva do Centenário.

Entre estes contam-se os dos japonezes aqui residentes, e o jornal «Notícias do Brasil» orgão da colônia japoneza de São Paulo, transmittindo os sinceros cumprimentos da mesma, com grande satisfação se associa á alegria geral, e com a edição especial do presente numero presta a sua homenagem á gloriosa data de hoje.



塔念記年百立獨國伯  
つ建に前館物博ガソラヒイ地たけ舉を聲の立獨が世一ロドベ、ンド

は聖市で、一部は伊太利で鑄られる支那人が皆茶の栽培に從事するの、そして此の工事はマリオ、ホエリイ技師の監督の下に行はれ、出水上るのは來年の二三月頃である。順に能く働けば犬か猫の子のやうに愛せらるゝが、さうでないと思ふ。奥様あたりから叱の聲が出て排斥の原因となることがある。支那人は果して懲りた理由から伯國人から輕蔑され排斥されたか何うかは保証の限りでないが、折角茶の栽培や摘取に來な植物の栽培を奨励し、リニアレスがら家庭奉公に轉じたのが支那人に茶栽培百年的茶取つて不利だつた。

至れるは、伯國の國民は勿論のこと、吾々在留民も亦歡喜極まつて手の舞ひ足の踏む所を知らぬのである。併し如何にお芽出度て空騒ぎは何等得る所がないから、吾々は伯國人と此の意味深い記念日を祝ひ合ひ、樂み合ふ中にも、此の先き百年の長計は立ち難いとしても、せめて十年、十五年、二十年の先きを考量して、是非伯國の土地に大和民族の榮えを現はすやうに心掛けて欲しいものである。(一記者)

その頂上には古風の焚火壇を据え、  
主郭によく掌てて者一二を据え、  
が栽培され、やがて植物園が一八二  
年九月二十日(明治五年)に開園する。  
この多省で

●百年祭を迎えて